

宇都宮市学校教育推進計画（素案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見募集期間 平成17年10月17日（月）～11月4日（金）
- (2) 意見の応募者数・件数 5名（8件）
- (3) 提出方法の内訳

提出方法	郵送	F A X	Eメール	持参	電話	計
人数（名）	1	2	2	0	0	5

2 意見・提言の概要と市の考え方

No	【意見・提言の概要】	【意見・提言に対する本市の対応】
1	・先に発表された「宮っこ未来ビジョン」の学校教育に関する個別計画として本計画が作成されたことは、市全体として進める人づくりの中で、学校教育がどのような役割を果たすのかを明確にするという点で意義深いものであると考える。	・意見の趣旨を踏まえ、「宮っこ未来ビジョン」と関連を図りながら、本計画の推進に努める。
2	・国の教育政策や自治体の教育施策等が、目先の課題のみにとらわれ、方針が目まぐるしく変わっていることを懸念している。学校現場に混乱を生むことが多く、朝令暮改のような教育に効果は期待できない。本計画は10か年の計画となっているので、本市が一貫性のある学校教育を展開できるよう、有効に役立てて欲しい。	・本計画は、今後の本市学校教育の方向性を明らかにする必要があることから策定したものであり、基本理念、基本方針、基本目標は、10年後の学校教育の在り方を念頭に設定したものである。 意見の趣旨を踏まえ、一貫性のある学校教育の展開に努める。
3	・基本理念を「未来を拓くたくましい宮っ子を、活力ある学校が、地域と共に育みます。」としたことについて、特に地域との連携を含めたことを評価したい。重点プロジェクトに「夢に向かって歩む力」プロジェクトがあるが、これからの学校教育において、子どもたちにどのような力を身に付けさせることを考えているのか、またそのために何をすることを明確にして進めて欲しい。	・「夢に向かって歩む力プロジェクト」について、名称を「未来を拓く人間力育成プロジェクト」とし、本市として児童生徒に身に付けさせたい力や、そのために本市が取り組む内容を分かりやすく示すことができるよう表記を修正する。

No	【意見・提言の概要】	【意見・提言に対する本市の対応】
4	<p>・「施策の主な指標」が示されており、計画の実現に向けた意気込みは感じられるが、教育の中では数値にあらわれにくい部分もある。数値目標のみが一人歩きすることのないよう、計画を進めていく上では慎重な取扱いに気を配っていただきたい。</p>	<p>・本計画では、施策の柱毎に「施策の主な指標」を設定し、計画の進行管理を行うことで、その実効性を高めていきたいと考えている。指標の取扱いについては、指摘の点を踏まえ、十分な配慮に努める。</p>
5	<p>・施策の柱5 - (1)に、「大学との連携を図った教員養成段階などにおける人材の育成」があるが、これは、大学にとっても、公立学校にとってもメリットがある取組であり、宇都宮大学だけでなく、私立大学も含めて、連携する体制を整備していくとよいと思う。</p>	<p>・学校教育の充実に資する人材を育成する上で、大学が学校教育に参加する機会を充実するなど、大学と連携することは効果的だと考えており、意見を参考に連携の体制整備などに努める。</p>
6	<p>・重点プロジェクト「頼れる先生プロジェクト」については是非実現して欲しい。特に「校内研修の充実」が必要である。アメリカでも教員研修が最大の課題となっており、研修形態として「アクションラーニング」や「アクションリサーチ」などを工夫している。様々な工夫のもとで校内研修の活性化を図って欲しい。</p>	<p>・「頼れる先生プロジェクト」では、教職員の実践的指導力を高めるために、校内研修の充実を図るとともに、日常的なOJTの活性化などを推進する。意見を参考にすることで、校内研修の実施方法等の工夫に努める。</p>
7	<p>・重点プロジェクト「地域と連携した学校づくり」は、今後の学校教育を考える上で欠かせない大切な内容であり、「地域と共にある学校」を目指して推進して欲しい。その中で、学校が保護者や地域と相互支援体制を整えていくには、PTAの果たす役割が大きいと思われるので、今後も連携を深められるようにして欲しい。</p>	<p>・「地域と連携した学校づくりプロジェクト」について、名称を「地域の学校づくりプロジェクト」とし、地域と共にある学校づくりを目指すことを明確にするとともに、プロジェクトの中で、家庭・地域等に加えてPTAとの連携を明確に位置付けるよう、表記を修正する。</p>
8	<p>・「2 計画の実現に向けて」の中で、「学校教育の評価については、様々な立場の方から広く意見を聴く場を設け、計画の効果や見直しの方向性などを適宜検討します。」とあるが、具体的にどのような方法を考えているのか。</p>	<p>・本計画が基本目標の実現のために、スケジュールに基づいて適切に推進されているかなどについて、有識者、学校関係者、関係諸団体代表などから意見を聴取し、本計画の進行管理を行うようにする。</p>